

わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.9 R 2, 11, 13

竹馬づくりを行いました！

竹馬作りと聞いて、今園にある竹馬に乗ってやってきた子がいました。子どものかわいらしい感覚に思わず微笑みました。



竹馬作りが始まると、好奇心旺盛の子どもたちが集まってきました。本物の竹という素材やのこぎりで竹を切る様子を興味深く見つめていました。



テープで仮止めし、縄を丁寧に巻いて縛り付けていきます。縄を幅広く巻くことで、滑り止め効果があるそうです。

欲しい！やりたい！と思ったら、ほとんどのものが手軽に手に入ったり、疑似体験できてしまう時代。出来上がるまで辛抱強く待つのも大事な経験だと感じました。



縄の結び方にも遊びを楽しくさせる技がありました。節のある竹の特徴を生かし、足をのせる板を上下に動かすことができる結び方です。自分の上達度に合わせて、どんどんレベルアップしていくことができます。

遊びを通して、世代を超えた豊かな経験ができました。私たちのお願いを快く受け入れて下さったおじいちゃんに、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

イチョウの葉が黄色く色付き始めました。子どもたちは、また楽しい遊びを思いつき、秋の自然を満喫することでしょう。

各クラスでは、冬野菜もしくは冬越しの春野菜の栽培に取り組み始めました。ハウレンソウにサヤエンドウ、ラディッシュなどの種を蒔き、これから子どもたちでお世話をしていきます。大きく育つといいですね。収穫できる日が、今から楽しみです。

先週金曜日、在園児のおじいちゃんが来園し、竹馬を作り、乗り方を伝授して下さいました。「小学校以来作ったことはなく、昔の記憶を呼び起こしながら作りました」とおっしゃっていましたが、子どもの背の高さや足のサイズを測り、手際よく作っていかれる様子に、子ども時代に培ったものの大きさを感じました。おじいちゃんが子どもの頃は、自分で自分の小刀を作ることから遊びが始まったそうです。遊び道具は自分で作るのが当たり前。その作り方は年上の子から教わり、下の子へ伝えていく。竹馬もその一つで、今の時代となっては羨ましい環境だと思いました。

訂正
前号でお伝えしたにじいろちゃんの種類は、オサクラインコではなく、コザクラインコでした。失礼致しました。



竹馬が出来上がるとあっという間に順番待ちの列ができました。

本物の素材で遊び道具が作られていく様子を間近で見られることに幸せを感じました。

誰が最初に乗れるかな？子どもたちと一緒に私たちも練習します。子どもの方がコツを掴むのが早そうだな…。



本物の竹で作れた竹馬に惹かれ「やってみよう！」と挑戦する子が集まってきました。

竹馬遊びを通して…

昔からの遊びを見直すことができました。こんな時代だからこそ、園では本物に触れたり、自分でやってみたりすることを楽しみたいと思います。そして、簡単に達成できることばかりではなく、自ら目標を掲げて粘り強く取り組んだり、夢中になって遊んだり、体も心もそして頭もフル回転させて遊ぶ経験を積ませたいと思います。昔からの遊びには、そんな要素がたくさんあります。こま回しやベーゴマ、めんこなど子どもたちとやってみよう！ご家族にこれらの遊びの達人がいまいたら、是非ともお声掛けください。

